

## 石川県能登島沖に放流されたマダラ人工種苗の成長と移動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森岡, 泰三, 山本, 和久, 堀田, 和夫, 大槻, 観三 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014491">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014491</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



石川県能登島沖に放流されたマダラ人工種苗の成長と移動

森岡泰三・山本和久・堀田和夫・大槻観三

タグ標識を装着した1歳人工種苗を能登島東方沖の産卵場へ放流した。再捕率は7.9%、1歳時25 cmであったが、満2歳で37.4 cm、3歳で54.0 cmに達し、深層水利用施設で継続飼育した群と同じ速度で成長した。主に能登半島東方-北東沖の陸棚辺縁部-斜面で再捕される。再捕位置は12月-1月の間には放流点に近づき、それ以外の時期には遠ざかる傾向があるが、これには漁船の操業パターンの影響も否定できない。また、成熟年齢にはかなり雌雄差と個体差があるようで、これが再捕結果の解釈をさらに困難にしている。

栽培技研, 27(1), 11-26, 1998